

フードテックの真実

～日本の課題と海外のフードテック事例～

12.18 MON 第1回 10:00-11:30
第2回 13:00~14:30

定員
50名

開催場所:みやざきNPO・協働支援センター
宮崎市錦町1-10宮崎グリーンズフィア吉番館(KITEN)3F

LIVE
WEBINAR

オンライン(Microsoft teams)参加可能。
(定員制限なし)



講師

株式会社スペックホルダー
代表取締役社長

大野 泰敬

複数企業を経営する事業家兼投資家。ラジオNIKKEIの情報番組「ソウミラ」など5番組のメインパーソナリティを務める。ソフトバンク株式会社に当時日本初上陸のiPhoneのマーケティングを担当し、シェア拡大に貢献。独立後は、企業の事業戦略、戦術策定、M&A、資金調達などを手がけ、大手企業14社をサポート。ご当地イノベーションを提唱し、省庁、自治体などの外部コンサルタントとしても活躍。食料安全保障の観点から大企業連合を形成し、地域社会の課題(畜産、養殖、農業)をオールジャパンで解決する取り組みである「ガーディアンプロジェクト」を立ち上げ、て多くのメディアに報じられる取り組みを次々に立ち上げる。農林水産省主催のビジネスコンテストでは審査員長なども務め、また政策の提言などを行っている。



講師

トヨタテクニカルディベロップメント株式会社
新事業創出センター 担当部長

宮川 倫一

2021年6月より社長直轄として発足した新事業創出センターへ異動。異動以前は特許権利化支援、特許調査、技術動向解析などの知的財産関連サービスに従事。新事業創出センターでは社内ビジコンの事務局運営、風土醸成活動に加えて新規事業の企画を自部署でも行う。この新規事業の企画としてフードテック分野にチャレンジ。

POINT 1 最新のフードテックが学べる!

- ・今、食の現場で何が起きているのか
- ・海外企業はどのような対策をしているのか
- ・また各国はどう対応しているのか

POINT 2 大手企業×畜産DX事例を紹介

自動車開発支援で培ったセンシング、デジタルツイン、データ解析、AI活用や生産工程の見える化などを活用し、牛のスマート畜産サービスを検討。実際の事例を元にご紹介します。

スケジュール

第1回 10:00~11:30

フードテックの真実

講師:大野泰敬氏(株式会社スペックホルダー)

データを踏まえたうえで、「フードテック業界」にビジネスとしてどういった可能性やチャンスがあるのかを、実例と共にご紹介。

第2回 13:00~14:30

宮崎県内フードテック取り組み事例

講師:宮川倫一氏

(トヨタテクニカルディベロップメント株式会社)

トヨタテクニカルディベロップメントが自動車開発支援の技術を活用し、宮崎県で取り組むスマート畜産の事例についてご紹介します。(農林水産省「令和5年度フードテックビジネス実証事業」の採択事業)

13:30 パネルディスカッション

フードテック業界において、なぜいま宮崎県が目ざされているのか。どうしたら地域企業が大手企業と取り組めるのかディスカッションします。

14:20 質疑応答&終了

お問い合わせ

宮崎県産業政策課 (TEL:0985-26-7052)

✉ sangyoseisaku@pref.miyazaki.lg.jp

お申込みQR
コードはこちら

QRコードは(株)デンソーウェアの登録商標です。

